

# 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

## 1. はじめに

コロナ禍の継続により、本年度も常時、コロナウイルスの感染状況を意識しながら運営にあたる年度となった。

会場施設の使用停止も想定されながらも準備を進め、昨年度に続き開催を決断した宮城県芸術祭では、前年には中止とした事業も再開させるなど、前回以上に事業規模を拡大して開催することができた。

また、本年度は東日本大震災から10年目の年にあたることから、各部において芸術祭の中で関連する企画を実施。これまで交流を重ねてきた兵庫県の団体との作品の交流展示や、会員の作品を集めたモニター映像や作品集の制作など、最大被災地区にある芸術文化団体としての節目の年の想いを各事業の中で形にした。

近年、本協会を取り巻く芸術分野全般にわたる後継者育成の最重要課題に、これまで公募展の立ち上げなど本協会においても様々な取り組みを進めているが、本年度は舞踊部における新規事業の立ち上げや、各公募展における高校生を中心に若い世代の応募数の増加や受賞者の輩出、2年ぶりに開催した音楽コンクールガラコンサートの内容の充実など、各事業の中で具体的な成果を残すこともできた。

本年度は宮城県内の芸術文化行事の中止が相次ぐ中にあっても、コロナ禍における芸術活動の牽引と宮城県の文化振興の形の具現化に向け、前年度以上に協会全体の運営規模を拡大し、活動した1年となった。

## 2. 会員状況

正会員及び名誉会員の総数は、前年度末1,914名から当年度末1,835名。79名の減少となった(新入会員49名・退会会員128名)。また、賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末112から当年度末も同じ112件(団体77、個人35・新規9[団体4、個人5]、退会9[団体3、個人6])。過去3年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	平成30	令和元	令和2	令和3			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	90	89	84	84	2	86	2
絵画部 (洋画)	346	345	349	340	3	343	△6
彫刻部	40	39	39	39	0	39	0
工芸部	87	87	88	86	1	87	△1
書道部	404	391	369	352	1	352	△17
華道部	147	134	138	127	0	127	△11
邦楽部 (三曲・琵琶)	39	38	36	35	0	35	△1
邦楽部 (長唄)	34	34	33	27	0	27	△6
洋楽部	134	137	137	127	2	129	△8
演劇部	1	2	2	2	0	2	0
文芸部	240	242	227	223	3	226	△1
舞踊部	13	13	13	15	0	15	2
茶道部	302	286	281	259	0	259	△22
写真部	120	119	118	107	0	107	△11
計	1997	1,956	1,914	1,823	12	1,835	△79
賛助会員	120	111	112	—	—	112	0
合 計	2117	2,067	2,026	—	—	1,947	△79

### 3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

#### (1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6/12	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算について

#### (2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4/19	芸術協会 会議室	第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 令和3年度定時総会の開催について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	8/2	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第3回理事会	12/13	芸術協会 会議室	第1号議案 令和4年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 理事候補者数の配分について 第3号議案 賛助会員の推薦について
第4回理事会	3/18	芸術協会 会議室	第1号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 法人運営規程の一部改正について

※第2回・第4回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

#### (3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4/12	芸術協会 会議室	令和2年度事業報告及び会計監査

### 4. 事業について

#### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する58回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

なお、年度当初から計画していた9月25日の開会式は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とし、11月25日の表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台・参加者119名)は予定どおり開催した。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

## ①展示関係事業

展示部門の会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
華道展	9/25～9/28	せんだいメディアテーク5F	1,650名	42点
書道展	9/25～9/28	せんだいメディアテーク5・6F	2,780名	259点
写真展	10/2～10/5	せんだいメディアテーク5F	1,831名	68点
彫刻展	10/2～10/5	せんだいメディアテーク6F	1,586名	23点
絵画展	10/9～10/12	せんだいメディアテーク5・6F	5,300名	日本画 29点・洋画 175点・役員等 76点
工芸展	10/28～11/1	TFU ギャラリーミニモリ	1,928名	61点

- ※1 例年開催している会期内の催しとして、写真展「ギャラリートーク」、彫刻展「アーティストトーク」、華道展「いけばなデモンストラーション」、書道展「受賞者による揮毫会」は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。
- ※2 工芸展では小品コーナーを設け、24名の会員作品を会期内展示した。
- ※3 東日本大震災10年の節目における企画として、各部で次のことを実施した。

写真展	企画展「震災10年を振り返って」と題し、被災地区を題材とした写真をモニターにて作品動画を展示した。
絵画展	震災を機に交流を継続してきた兵庫県洋画団体協議会からの7点の作品を招待作品として展示した。
工芸部	作品の出品招待を受けるなど交流してきた宝塚市手工芸協会の3点の作品を招待作品として展示した。

## ②文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり開催した。

実施した全ての事業において、東日本大震災10年の節目における企画を設けた。文学散歩では被災沿岸部を研修場所として企画、宮城県文芸年鑑では「震災から10年」の特別企画を設け会員作品を掲載した。文芸祭では作品公募の実施を中止し、例年同様に文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読に加え、平川新氏を講師として招き「災厄と共にある人間の歴史」と題する講演会を企画した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/7	石巻・東松島方面	—	参加者 21名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	700部発行
文芸祭	10/23	東京エレクトロンホール宮城	63名	—

## ③人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

### a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
フォトサミット in Sendai 2021	10/2～10/5	せんだいメディアテーク5F	1,831名	応募(人数)1,055点(236名) 入選 121点
絵画展(公募の部)	10/2～10/5	せんだいメディアテーク6F	1,586名	82点
彫刻公募展	10/2～10/5	せんだいメディアテーク6F	1,586名	応募 13点、入選 10点

b. 音楽コンクールの実施

昨年度(第41回)コンクールの受賞者への特典とするガラコンサートを次のとおりに開催した。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。

また、第42回音楽コンクールをピアノ部門、ヴァイオリン部門の2部門で実施した。コンクールは予選・本選ともに出場者及び運営関係者のみに入場を制限し、無観客開催とした。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第41回音楽コンクール ガラコンサート	10/7	仙台銀行ホールイズミティ21	出演受賞者 21名 芸術協会管弦楽団 28名	323名
第42回音楽コンクール	予選	2/13	日立システムズホール仙台 ピアノ部門予選出場:160名 初級A:31名、初級B:39名 中級A:40名、中級B:20名 上級A:18名、上級B:12名 ヴァイオリン部門予選出場:31名 初級:10名・中級:17名・上級:4名	—
	本選	3/13	日立システムズホール仙台 ピアノ部門本選出場:73名 初級A:15名、初級B:17名 中級A:19名、中級B:6名 上級A:9名、上級B:7名 ヴァイオリン部門本選出場:47名 初級:9名・中級:14名・上級:4名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:18名 ツィゴイネルワイゼンコンクール:2名	—

c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	7/2	芸術協会 会議室	16名	講師:佐々木 光一 会員
第2回写真セミナー	7/9	芸術協会 会議室	11名	講師:落合 英俊 会員
第3回写真セミナー	7/16	芸術協会 会議室	15名	講師:高橋 吉勝 会員

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第58回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/14~12/20	東京エレクトロンホール宮城	545名	会員の部 42点 公募の部 19点

## ②人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第1回宮城県各流子ども舞踊発表会 [主催:公益社団法人日本舞踊協会宮城支部]	6/27	戦災復興記念館	140名	出演:10社中 26名
第2回杜のみやこ工芸展 [共催:河北新報社 公益財団法人河北文化事業団 公益財団法人宮城県文化振興財団]	10/28～11/1	TFU ギャラリーミニモリ	1,928名	応募作品数(人数) 202点(168名) 入選:174点(内:主催団体 等賞20点、奨励賞16点)
第8回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/6～12/12	東京エレクトロンホール宮城	251名	応募:129点 内、入賞・入選:44点

## ③後援事業

「河北書道展」など、本協会に本年度申請された64件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

### (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

#### ○東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の交流協議及び事業を次のとおり実施した。

なお、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、本事業及び7団体が会する総会はZoomによるオンライン形式で行った。

また、交流事業の内容を特集テーマとし、機関紙「北斗」(46号)を発行した。(2月15日付発行1,500部・本協会執筆担当:沼倉 良郎 事務局長)

事業名	期日	備考
東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業 「芸術文化活動における次世代育成、後継者育成」の事例紹介	6/17	幹事地区:岩手県(一般社団法人岩手県芸術文化協会) 事例紹介地区:宮城県(本協会)、山形県(山形県芸術文化協会)、福島県(福島県芸術文化団体連合会)

### (4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第4条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行 (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業一に関する事業を次のとおり実施した。

①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業としての研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
講演会	6/12	仙台市福祉プラザ	76名	講師:熊谷 達也 氏 演題:「言葉を屠る」

②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」を次のとおり発行した。

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」刊行	228号	5/13	2,550部	総会開催連絡、音楽コンクール開催報告、令和3年度事業計画・予算書、新入会員談話・賛助会員紹介
	229号	7/30		総会・芸術祭事業進捗報告、東北・北海道芸術文化団体協議会事業報告、令和2年度決算・事業報告
	230号	11/1		第58回芸術祭報告、芸術祭震災10年企画紹介、芸術祭受賞者一覧、芸術選奨会員受賞者紹介
	231号	1/31		理事長年頭挨拶、第2回杜のみやこ工芸展及び第58回宮城県芸術祭事業報告、年男・年女会員年賀挨拶

◎本年度中止事業について

新型コロナウイルス感染状況等により次の事業を中止とした。

事業種別		事業名	担当部門
公益目的事業1（宮城県芸術祭）	演奏関係事業	長唄演奏会	邦楽部(長唄)
		茶会	茶道部
公益目的事業2（主催・後援事業）	伝統文化体験事業	第24回杜のみやこ大茶会	茶道部
	鑑賞機会提供事業	みやぎミュージックフェスタ	洋楽部
	人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	絵画部
	人材育成事業	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	書道部
	人材育成事業	宮城県子供三曲演奏会	邦楽部(三曲)
他事業	研修	絵画部スケッチ研修会	絵画部
	研修	研修旅行	協会全体